◎夏季賞与支給予定額調査結果

夏のボーナス支給予定額 297.606円 前年支給実績額比+6.9%



当センターが6月1日現在でまとめた、県内中小企業の夏 のボーナス支給予定額は、既にその額を決めていると回答した 96 企業(以下「有額回答企業」という。)の加重平均(有額回 答企業の支給予定額の総額:有額回答企業の従業員総数)で 297.606円(前年支給実績額比+6.9%)となった。また、「未定」 を除いたもののうち「夏のボーナスを支給する」と回答した企業 は 69.0%(前年 66.3%) と、前年に比べ 2.7 ポイント増加した。

調査について

対象企業 1,800 企業

調査時点 平成18年6月1日

有効回答数 388 企業 (うち有額回答企業 96 企業)

※比率は小数点第2位を四捨五入したため、合計が100%

にならないことがある。

支給予定額、支給実績額の推移(平成10年~18年)

	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
支給予定額(円)	353,954	336,346	328,509	334,951	282,099	285,549	315,140	323,222	297,606
支給実績額(円)	356,299	337,278	332,293	305,964	277,771	291,708	312,250	278,271	
(支給予定額÷ 対前年実績額) の増減(%)	▲ 2.1	▲ 5.6	▲ 2.6	+0.8	▲ 7.8	+2.8	+8.0	+3.5	+6.9

[※]各年の支給予定額 (平成 18 年であれば、「297,606 円」) と、それの比較の対象とした前年の支給実績額 (平成 18 年であれば、17 年の欄に記載の「278,271 円)は、同一各年の調査結果であり、回答企業は同一である。

「支給予定額」は、14年、15年は20万円台となり、16年、17年は30万円台に戻ったものの、18年は297,606円となっている。 「支給実績額」は減少傾向が続いており、16年には30万円台に戻ったものの、17年は278,271円となっている。

回答企業の支給予定 (平成 18年)

有効回答のあった388企業のボーナス支給の有無は下表のとおりである。

回答					支給する	支 給	支給する しない 自体未定	合 計		
業種		額・時期 とも決定	額のみ 時期のみ 決定 決定		額・時期 小計 とも未定				โสเ	
鉱		業	2	0	1	1	4	4	1	9
建	設	業	13	0	21	7	41	27	31	99
製	造	業	36	0	25	10	71	16	17	104
卸	売	業	5	0	4	2	11	3	6	20
小	売	業	18	1	8	9	36	18	7	61
運	輸	業	5	0	1	1	7	8	11	26
サ -	- ビス	ス業	15	1	18	3	37	17	15	69
全	業	種	94	2	78	33	207	93	88	388

支給予定の状況 (「未定」を含めた場合)

支給予定の状況をみると、全業種では「支給する」が53.3%(内訳: 「額、時期ともに決定」24.2%/「額のみ決定」0.5%/「時期のみ決定」 20.1%/「額・時期ともに未定」8.5%)、「支給しない」が24.0%、「未 定 が 22.7% である。

業種別にみると、「製造業 |は「支給する |が68.2%と全業種中もっ とも多く、次いで「小売業」59.0%、「卸売業」55.0% となっている。 反対に、「支給しない」は「鉱業」が44.4%と全業種中もっとも多く、 次いで「運輸業 | 30.8%、「小売業 | 29.5% となっている。

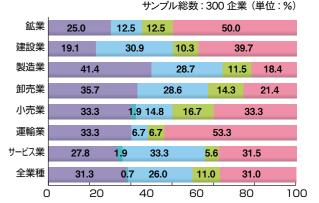


サンプル総数:388 企業 (単位:%) 鉱業 22.2 11.1 11.1 44.4 建設業 13.1 21.2 7.1 27.3 31.3 製造業 24.0 9.6 15.4 16.3 卸売業 20.0 10.0 15.0 25.0 30.0 小売業 1.6 13.1 14.8 29.5 11.5 運輸業 19.2 3.8<mark>3.8 30.8</mark> 42.3 サービス業 21.7 1.4 26.1 4.3 24.6 21.7 全業種 0.5 20.1 8.5 22.7 80 100

支給予定の状況 (未定」を除いた場合)

支給予定の状況を「未定」を除いたものでみると、全業種では「支 給する」が69.0%(前年66.3%)と、2.7 ポイント増加している。一方、 「支給しない」は 31.0%(前年 33.6%) である。





支給予定額

支給予定額は、全業種では297.606円、基本給比1.54ヶ 月分(前年1.63ヶ月分)である。

業種別にみると、「サービス業」が382,669円ともっと も多く、次いで「製造業」が322,709円と多い。逆にもっ とも少ないのは「運輸業」で、147.644円である。支給予 定額は、「運輸業」が前年実績を下回っているほかは前 年を上回っており、もっとも差が大きいのは「建設業」の 114.6% となっている。

サンプル総数:96 企業(有額回答企業)

	(円)	(円)	(%)	(歳)	一(年)	(円)	(月)
鉱業	_	-	_	_	_	_	_
建設業	242,508	211,573	114.6	42.1	14.3	224,487	1.08
製造業	322,709	305,058	105.8	33.9	10.4	192,490	1.68
卸売業	232,500	216,000	107.6	37.8	13.1	196,199	1.19
小売業	257,055	229,593	112.0	38.8	13.5	214,721	1.20
運輸業	147,644	149,155	99.0	48.4	10.1	140,328	1.05
サービス業	382,669	347,810	110.0	36.9	12.2	213,108	1.80
全業種	297,606	278,281	106.9	36.5	11.1	193,624	1.54

※「鉱業」はサンプル数が2企業のため秘匿扱い

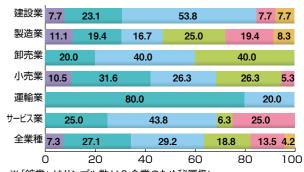
支給予定額の分布

支給予定額の分布は、全業種では「20万円~30万円未満」 が 29.2% ともっとも多く、次いで [10 万円~20 万円未満] 27.1%、 [30 万円~40万円未満 | 18.8% となっている。

業種別にみると、「製造業」は「30万円~40万円未満」以上 の合計が52.7%と全業種中もっとも多く、「50万円以上」も8.3% と多い。「サービス業 | も [40 万円~50 万円未満 | が 25.0% となっ ている。「運輸業」はすべて30万円を下回っている。







※「鉱業」はサンプル数が2企業のため秘匿扱い

特 集 ②夏季賞与支給予定額調査結果

夏のボーナス支給予定額 297,606円 前年支給実績額比+6.9%

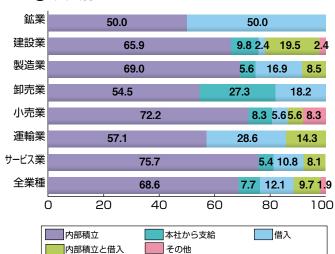
支給財源

支給すると回答した企業の支給財源をみると、全業種(全規模)では「内部積立」が 68.6% ともっとも多く、次いで「借入」 12.1%、「内部積立と借入 9.7% である。

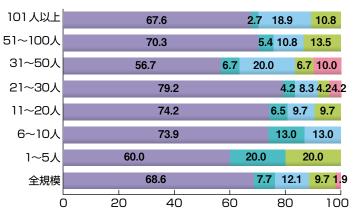
業種別にみると、「小売業」「サービス業」は 70% 以上が「内部積立」としている。また「鉱業」「卸売業」「運輸業」は「借入」が多い。 従業員規模別にみると、「31 ~ 50 人」の企業は「内部積立」が 56.7% ともっとも少なく、「31 ~ 50 人」と「101 人以上」の企業では比較的「借入」が多い。

サンプル総数:207 企業 (支給する) 企業) (単位:%)

○業種別



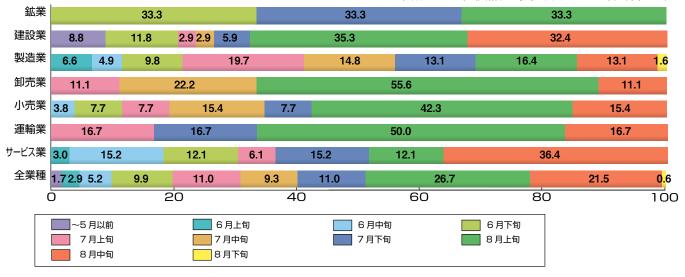
○従業員規模別



支給時期

支給時期をみると、全業種では「8月上旬」が26.7%、「8月中旬」が21.5%と、8月支給が多い。 業種別にみると、「建設業」「卸売業」「運輸業」は8月支給が60%を越えている。「鉱業」「製造業」は7月以前の支給が多い。

サンプル総数:172企業(支給する時期が決まっている企業)(単位:%)



●お問い合わせ先: 新事業支援グループ TEL.019-631-3825 FAX.019-631-3830